

## 食 健康セミナー「食と放射能について」の安全安心を

1月28日(休)勤労青少年ホームにおいて、相馬中央病院内科医森田知宏氏と消費者庁消費者安全課金田直樹氏を講師に迎え、「食と放射能について」講演が行われました。

放射能は元々食べ物自体にも含まれており、気をつけるべき品目は判明していることが説明され、参加者は説明を聞き驚いている様子でした。東日本大震災の発生により、食に対する安全・安心への関心が高まっており、正しい知識を習得することが大切です。



食への正しい知識を学びます

## 文 鏡石町文化財防火査察 化財の保護と防火対策

1月26日(火)に文化財防火デーにちなみ、町文化財保護審議会(橋本正剛委員長)の委員や、須賀川消防署鏡石分署の署員が参加し防火査察を行いました。

この査察は町内の文化財及び寺社について文化財の保護と防火対策の強化に努めることを目的として行われており、環境の整備や文化財の管理、施設管理状況などを確認しました。



町内の文化財や寺社の状況を確認している様子



小腸がどのくらい長いのか見てみよう

## 風 鏡石幼稚園食育教室 邪をひかないために

2月4日(休)鏡石幼稚園において、食育教室が行われました。風邪をひかないためにはどのような食べ物を食べたらよいか、食べたものはどのように体外に排出されるのか学びました。甘い食べ物や、カップ麺をたくさん食べると太り風邪をひきやすくなるため、緑黄色野菜・肉・魚・牛乳などを良く噛んで食べるよう説明があり、食べ物が体外に排出されるには、小腸を通ることを同じ長さで作られた模型を園児たちは手にとり実感しました。



かるたはどこにあるのかな～？

## 白 児童クラブかるた大会 熱したかるた取り

1月29日(金)ふれあい交流館において、児童クラブかるた大会が行われました。1年生から6年生までの約120人が参加し、各学年ごとにグループに分かれ、各グループの1位と2位を競いました。上位入賞者には賞品が用意されており、子どもたちは1位を目指し競い合い、白熱するあまりお手つきをしまい一回休みになり、悔しがる様子も見られました。

## 親 町スポーツ少年団県外交流研修会 睦を深めました

2月13日(出)から15日(月)までの3日間、沖縄県北谷町・鏡石町スポーツ少年団県外交流研修会が開催されました。北谷町からは10人の子どもたちが参加し、町の子供たちとスポーツ交流や食事会等で親睦を深めました。また、ホームステイも行われ沖縄と福島の暮らしの違いを肌で感じることができ、参加した児童からは「ホームステイ先の皆さんがとても優しく嬉しかったです。また、力を合わせれば何でもできることを学びました」と話がありました。



参加者全員で親睦を深めました

## 初 アドベンチャークラブスキー教室 めてのスキーに挑戦

1月30日(出)かがみいしスポーツクラブ主催の「スキー&スノーボード教室」が猪苗代スキー場で行われ、アドベンチャークラブの42人が参加しました。

参加者の子どもたちは初めてスキーに挑戦する子も多く、立つことも大変でしたが、午後になると徐々に慣れ滑れるようになりました。子どもたちの中には、転びながらも楽しそうに練習している姿や、怖がりながらも頑張っている姿が見られました。



講師の方の説明を聞きスキーの練習をする様子



代表して委嘱状を受領する柳沼信夫委員

## 給 鏡石町上下水道事業運営審議会 水の安全性・安定性

2月10日(火)役場第一会議室において、鏡石町上下水道事業運営審議会が開催され、審議会の委員に対し委嘱状が交付されました。遠藤町長より「上下水道事業の円滑な運営を図るため、将来にわたり給水の安全性・安定性を維持し、施設の計画的な改良、更新を進めていきます」とあいさつがあった後に、会長と副会長の選出が行われ、会長に面川正彦さん、副会長に最上愛子さんが再選しました。



先生たちと一緒に豆まき

## 鬼 節分豆まき は外！福は内！

2月3日(休)町内の保育所、幼稚園、放課後児童クラブにおいて節分の豆まきが行われました。

鏡石保育所では自分たちで作成した鬼のお面をつけ、始めは全員で豆まきを行い、その後各教室ごとに新聞紙で作った豆で教室に現れた鬼へ向けて豆まきを行い、「鬼は外！福は内！」と大きな声で鬼を退治しました。子どもたちの中には鬼の怖い形相に泣き出してしまいうちもいました。